

2026年 春の鹿大生 応援キャンペーン

鹿大「進取の精神」支援基金では、
春の卒業・入学シーズンにあわせて
ご寄附をいただいた方を対象に、
下記のキャンペーンを実施します。



特典

記念品贈呈

一口4,000円以上のご寄附で、感謝の気持ちを込めて
鹿児島大学オリジナルカレンダー（非売品）
を進呈します！

キャンパス写真と大学行事が掲載されており、本学の今の様子を感じていただける、オリジナル卓上カレンダーです。



【キャンペーン概要】

受付期間 2026年4月30日（木）まで

ご寄附の方法

対象寄附メニュー

鹿大「進取の精神」支援基金

01 一般基金

02 鹿児島大学修学支援事業基金

鹿大「進取の精神」
支援基金HPを確認



対象寄付金額 一口4,000円以上

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/donateinformation/430.html>

（※複数口ご寄附いただいた場合でも、特典（カレンダー）はお一人様1冊までとなります。）

01

同窓会連合会報

同窓会連合会報 No. 40

設立20周年記念号

鹿児島大学と卒業生をつなぐ会報誌として、各学部同窓会の活動報告や、同窓会連合会関連行事の報告、鹿児島大学の近況などをお伝えすることを目的に発行しています。

同窓会連合会20周年の節目には、学長、同窓会連合会長、在学生とともに、未来の同窓会をより面白く、意義深いものにするためのヒントを探る特別座談会を実施しました。

詳細はURLから会報誌をご覧ください。

会報誌を読む ▶



<https://www.kagoshima-u.ac.jp/rengokai/newslettervol40/>

特別座談会

未来につなぐ、同窓会の新しいかたち

卒業してから続く、大学とのつながり。同窓会は、単に懐かしい顔ぶれと再会する場というだけでなく、世代を超えた交流や、社会とのつながりを生み出す可能性を秘めています。

今回、稲盛記念館で開催された座談会には同窓会連合会の高水会長や鹿児島大学の井戸学長、「ホームカミングデー2025」に参加した現役の大学生が集い、これからの同窓会のあり方について本音で語り合いました。現役生との交流やデジタル技術の活用など新しい可能性を一緒に探求することで、未来の同窓会をより面白く、意義深いものにするためのヒントを見つけます。(文中敬称略)



02

新コミュニティ

鹿大ファンクラブ 始動！

2026年4月スタート / 会員登録 無料！

鹿児島大学に心を寄せてくださる皆さまとつながり、集い、語り合える、鹿大と未来をつくるコミュニティを開設します！

公式HPより無料で会員登録ができます。集まれ！かだいさ〜ん！

会員登録はこちら ▶



<https://fanclub.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿大ファンクラブ
FROM 1949 CLUB

鹿大とみんなでつくる未来は、
きっともっとおもしろい！

鹿児島大学は、2026年4月に「鹿児島大学公式ファンクラブ」を設立します。

鹿児島大学に心を寄せてくださる皆さまとつながり、集い、語り合える

鹿大と未来をつくるコミュニティを目指しています。

鹿児島大学が主催するさまざまなイベントなどを通じて大学の魅力を発信し、地域の皆さまとの交流を促進します。

あなたもファンクラブに参加し、より豊かな未来を一緒に築いてみませんか？

集まれ！
鹿大さ〜ん！

03

ふるさと納税

2026.4.1～募集開始！

ふるさと納税（個人版）で 鹿児島大学の活動を応援できます

鹿児島市「大学応援ふるさと納税」
鹿児島市には、ふるさと納税で市内の大学を支援できる「大学応援ふるさと納税」があります。

応援したい大学として「鹿児島大学」を指定して寄付いただくことで、鹿児島大学をご支援いただくことができます。

<p>特例 1 教育機関や地域の教育活動プロジェクトを選んで寄付</p> <p>プロジェクトへの「共通」をモチベーションにしたふるさと納税です</p>	<p>特例 2 鹿児島市民も鹿児島市にふるさと納税できます</p> <p>返礼品がないため、鹿児島市民も鹿児島市に寄付できます！</p>	<p>特例 3 少額で気軽な一歩を踏み出せる</p> <p>最低1,000円からふるさと納税できます</p>
--	---	---



SCSKふるさと納税 「鹿児島大学」検索

ふるさと納税で 2026.4.1～募集開始！
鹿児島大学 の活動を応援できます！

ふるさと納税募集中 おすすめプロジェクト

※001 空の命綱を守り、地の未来を切り拓く。鹿児島を変える次世代リーダー育成プロジェクト

大学という守られた場所を飛び出し、待ったなしの真剣勝負が待つ『生きた現場』へ

鹿大生の「挑戦」が、地域の未来を拓く。

※002 「国際共修」と「留学生ネットワーク」で「進取の気風」を世界へ。地域と共に成長する「循環型」のグローバル教育へ

※003 寄附金の用途は学長にお任せ「進取の精神で、地域と世界の未来に挑む教育研究拠点」を目指して